

長期戦略:テーマ 「カリキュラムの基本構造の改革」

提出日 2022年8月24日

担当部署

Ⅱ.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	林教務機構長 (教務機構)	実施計画の 担当部署	教務機構 (ハンズオン・ラーニングセンター)
-----------------------	------------------	---------------	---------------------------

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
1-(3)-⑦ ハンズオン・ラーニング・プログラムのさらなる拡充	2021年度	2023年度	必要なし	不要
内容 教育特別任期制教員制度が制定され、それに伴い2021年3月31日をもってキャリア教育常勤教員制度の廃止が決定された。今後、引き続き本学におけるハンズオン・ラーニングおよびキャリア教育を充実・発展させるために、教育特別任期制教員をハンズオン・ラーニングセンターに配置する。 2022年度よりキャリア教育科目の開講部局をキャリアセンター(キャリア教育プログラム室)に移管するが、教育特別任期制教員はキャリア教育だけでなく、PBL、インターンシップ等のハンズオン・ラーニング科目についても担当するため、引き続き所属はHoLCとしキャリア教育科目とハンズオン科目の担当およびコーディネートする役割を担う。キャリア教育科目とハンズオン科目は密接な関係にあり、科目間の連携が不可欠である。HoLCで築いてきたその機能を維持・発展するために、教育特別任期制教員が更なる情報共有、連携強化を行い、双方のプログラムのクオリティの向上を目指す。また、HoLCはダブルチャレンジプログラム事務局でもあるため、キャリアセンターとの事務的な連携も行う。 なお、キャリア教育科目の指標については、キャリアセンターが担当部署となる実施計画「新たなキャリア教育の再構築」において新たに定める。				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	ハンズオン・ラーニング・プログラム	当該年度の卒業生のうち、ハンズオン・ラーニング・プログラムの単位を取得して卒業した学生数(延べ人数)		
指標2	※独自定量1 アウェイチャレンジ 単位取得卒業生数(実数)	当該年度の卒業生のうち、ダブルチャレンジ制度のアウェイチャレンジ(①国際プログラム、②ハンズオン・ラーニング・プログラム、③副専攻プログラム)の単位を取得して卒業した学生数(実数)		
指標3	参照指標 全学生数当該年度の卒業生数 うち学部(通年)	全学生数当該年度の卒業生数 うち学部(通年)		

目標1<指標1> ハンズオン・ラーニング・プログラム

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
目標	—	—	—	—		
実績	2681 人					

目標2<指標2> ※独自定量1アウェイチャレンジ単位取得卒業生数(実数)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
目標	3950 人	5700 人	5700 人			
実績	2719 人					

目標3<指標3> 参照指標 全学生数当該年度の卒業生数 うち学部 (通年)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
目標	—	—	—			
実績	5416 人					

2. ロードマップ

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
ハンズオン・ラーニング・プログラム(キャリア教育科目+ハンズオン科目)の拡充	策定段階	教員募集	教員採用	キャリア教育科目のキャリアセンターへの移管の検討	キャリア教育科目のキャリアセンターへの移管	実施
	2023年3月末段階	教員募集を行い、候補者1名を選出	教員採用科目開発実施	—	—	—
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	実施	実施	実施	実施	
	2023年3月末段階	—	—	—	—	
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	策定段階					
	2023年3月末段階					
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階					
	2023年3月末段階					

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】							
非公開							
経費 単位:万円	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度 承認	2024年度	2025年度	2026年度	左記以降
非公開							
人員・人件費 単位:万円	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度 承認	2024年度	2025年度	2026年度	左記以降
非公開							

4. 進捗状況・得られた成果

2019年度	2019年度に公募を行い47名の応募があり、候補者として1名を選出した。
2020年度	採用を決定。2021年度に向けての準備を行った。
2021年度	教員体制の充実により、Certificate Programを創設するなどプログラムの充実ができた。
2022年度	
2023年度	
2024年度	

5. 今後の課題及び方向性

2019年度	2019年度に新たに設定された実施計画であり、現状及び今後の推進課題や方向性は2021年度に向けて整理する。
2020年度	全学およびハンズオン・ラーニングセンターの中でのキャリア教育の位置づけを整理する必要がある。キャリアセンターと連携を取りながら、プログラム内容を検討中である。
2021年度	キャリア教育科目がキャリアセンターに移管となった。教育特別任期制教員は引き続きハンズオン・ラーニング科目とキャリア教育科目を担当することになるので、科目運営の面でキャリアセンターとの更なる連携が必要になる。
2022年度	全学科目が多くなる中、いかに履修生確保に努めるかが大きな課題といえる。
2023年度	
2024年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2019 年度	—
2020 年度	キャリア教育プログラムのコーディネートに係る人件費を認めます。
2021 年度	ハンズオン・ラーニング・プログラムのコーディネートに係る人件費を認めます。
2022 年度	ハンズオン・ラーニング・プログラムのコーディネートに係る人件費の継続を認めます。
2023 年度	
2024 年度	

7. Total Review の結果

【フェーズ I (2019~2021)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の充実のため、2021 年度より着任する教育特別任期制教員を雇用した。 ・キャリア教育プログラムについては、既存の授業科目の内容精査に加え、委託業者との打合せ等も行うことで、プログラムの充実を図っていく予定である。 ・2022 年度に向け、キャリアセンターと連携したカリキュラムの改編を行う予定。 	継続 ・ 廃止	・特になし

【フェーズ II (2022~2024)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	